

若者の視点 尚綱大学生によるレポート 30



大津町議会(一般質問)傍聴の感想

12月9日、12日、13日に行われた大津町議会一般質問をオンライン傍聴し、その後社会学概論という授業の受講生に議会傍聴の感想をまとめてもらい、授業内で発表会を行いました。

[オンライン傍聴して]



現代文化学部
1年

まさおか そらね
正岡 空音

議員による一般質問「台湾からの移住者をはじめとする外国人への対応に向けた人材育成について」をオンライン傍聴し、共感を覚えた。

TSMC が熊本に工場を建設するという話はニュースで耳にしたことがあったが、あまり身近なこととして捉えていなかったため、今熊本の各市町村に外国人への様々な対応が求められているということに気付かされた。議員の「人」に対するサポートがより重要だという視点には私自身賛成で、企業や町などの大きな枠組だけでなく個人が外国人への理解や思いやりの気持ちをもつことがこれから必要になると改めて感じた。金田町長の回答には、職員全体に向けた研修だけでなく、チャレンジ精神をもった職員を支援する取り組みも進めていきたいとの声があり、多文化共生や異文化理解に興味をもつ私にとって、将来仕事に就いた際、その地域からの支援を受けてより深い知識を身に付け、業務に役立てることができるかもしれないと希望をもつことができる良い機会だった。



現代文化学部
1年

ふじもと あやか
藤本 彩花

このたびの一般質問「インクルーシブ防災について」、「公立保育園、保育士・幼稚園教諭処遇改善臨時特例給付について」、「子ども食堂の運営について」をオンライン傍聴した。

質問の内容や回答を聞いていて、議員側の意見と住民側の意見が必ず一致するわけではないことに少し驚いた。また町側にとって都合が悪いことと、住民側にとって都合が悪いことがあり、その都度状況に対する受け取り方も違うように感じた。立場や見る方向が違うことによってすべきだと考えるものが違うので、意見を述べる際に、自分や自分の周りの人々の意見だけではなく、もっと広く意見を聞くことが大切なのだと感じた。

また、最近テレビで取り上げられたニュースから問題を提起することも大事だと思うが、自分のいる地域の状況は全く同じわけではないので、よく調べてみることも大事だと考えた。